

事故が多い名阪国道にある高峰サービスエリア(上り)の使用を禁止してほしい

—行政苦情救済推進会議の意見を踏まえたあっせん—

総務省近畿管区行政評価局は、次の行政相談を受け、行政苦情救済推進会議に諮り、その意見を踏まえて、平成 21 年 3 月 10 日、国土交通省奈良国道事務所に対し、名阪国道高峰サービスエリア(上り)を廃止するようあっせんしました。

(行政相談の要旨)

名阪国道の高峰サービスエリア(上り)の出口付近で、突然飛び出してくる車に危険を感じたことが度々あった。同サービスエリアの使用を禁止し、少しでも安全な道路にしてほしい。(大阪市の男性から)



(当局の調査結果等)

① 名阪国道は「日本一安全運転が必要な道路」

名阪国道(高速自動車国道ではない自動車専用道路、無料)は、近畿圏と中部圏とを結ぶ「大動脈」で名神高速道路よりも交通量が多く、かつ、交通事故も多く、奈良県警察のHPで「日本一安全運転が必要な道路」と啓発していた。

② 加減速車線が極めて短く見通しも悪い

当SAの出入口は1か所で、加減速車線が短く見通しも悪く、本線に出る場合、極めて慎重な運転が要求される。また、SAから急に合流する車を避ける必要があるため、本線通過の運転者も危険を感じる。当局が、名阪国道のような自動車専用道路の全国のSA・PA40か所の上下線計60施設を調べたところ、当SAほど加減速車線が短い施設は無かった。

③ サービス水準が低く利用者も少ない

当SAには、トイレ及び食堂(ラーメン店、自動販売機コーナー)があったが、無料休憩所・道路案内所・給油所が無く、2月11日には食堂、自動販売機コーナーも閉鎖され、SAとしてのサービス水準が低く利用者も少ない。

④ 近接している道の駅針T.R.S(テラス)等の利用が可能

当SAの名古屋方面約8kmに日本最大級の道の駅針T.R.S(テラス)(13年開設)、奈良・針トラックステーション(16年開設)、大阪方面約11kmには西名阪道の天理PA(12年開設)がある。



(推進会議の検討結果)

高峰SA(上り)は、施設の構造においても、サービス機能においても、自動車専用道路のサービスエリアとしては不十分であり、また、新たに針テラス、天理PA(両者の間は約19km)が整備され、仮に当SAを利用できないとしても利用者にとっての支障はほとんど生じないと考えられる。



【あっせんの要旨 対 国土交通省奈良国道事務所】

奈良国道事務所は、利用者に対する交通事故リスクの軽減を図る観点から、高峰SA(上り)を廃止するとともに、廃止後の用地の有効利用について検討する必要がある。